

理事就任挨拶



沖縄県医師会 理事 天願 俊穂

沖縄県医師会会員の皆様、この度、久貝忠男前理事の後任として医師会理事を拝命いたしました沖縄県立中部病院の天願俊穂と申します。令和7年7月1日に代議員会議長の玉城信光先生から当選証をいただき身の引き締まる思いでおります。

私は那覇高校（當間理事と同期の35期）、琉球大学医学部（田名会長と同期の4期）卒業後に中部病院で研修を始め、研修修了後は外科医師として宮古病院で勤務しました。その後、心臓血管外科研修を大阪の国立循環器病センターで行い、1998年に沖縄に戻り中部病院に入職し、現在に至ります。コロナ禍の2020年から管理職となり、今年4月から院長を仰せつかりました。

今回、沖縄県医師会の理事の一員に加えていただきましたが、恥ずかしながら沖縄県医師会の活動を十分に把握しておりませんので、勉強させていただきながらお役に立てるよう精進してまいりたいと思っています。

私に与えられた担当は、主に対内広報（医師会報）、医療事故調査、臨床検査精度管理に関することです。医師会報は、医師会の活動や会

員相互の情報共有、医療機関の連携の促進につながるコミュニケーションの場でもあり、時に医療政策への提言や地域医療の問題解決などにも役立つものだと思っております。医療事故調査は、大変デリケートな事象ですが、医療機関と医師会（医師会の理事と専門の外部委員の先生方）が協力して、原因究明と再発防止に少しでもお役に立てるよう努力してまいります。臨床検査精度委員会は県内の臨床検査技師の方々とコミュニケーションをとりながら、病院や検査センターなどで行われる臨床検査の結果が、常に正確で信頼できるものであることを保証するために、測定や試薬に問題がないか確認します。今まで以上により正確に安全になればと思っています。

理事の中で県立病院に勤務する医師は私一人ですので、県立病院と他の医療機関や医師会の先生方とのスムーズなコミュニケーションができるよう努めてまいりたいと思っています。

まだ始まったばかりで右も左もわかりませんが、他の理事の皆様と医師会会員の皆様の協力を得ながら、田名会長のもと職務を全うする所存です。よろしくお願ひいたします。

